

留 学 報 告 書

記入日：2013年9月30日



所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部経済学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	アラバマ大学 The University of Alabama
留学期間	2012年8月～2013年5月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	College of Arts and Science <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2013年5月13日
明治大学卒業予定年	2014年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月下旬～12月下旬 2学期:1月中旬～5月上旬 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	33,600人
創立年	1831年

留学費用項目	現地通貨 (ドル(当時1ドル 80円))	円	備考
授業料	\$0	1238500円	明治大学の授業料を継続
宿舍費	\$8000	円	
食費	\$3000	円	1日10ドル×30日×10か月 自炊あり
図書費	\$1500	円	1冊最大で200ドル台の教科書あり
学用品費	\$100	円	ノート等その他の雑品
教養娯楽費		円	
被服費	\$300	円	夏用の服は持参し、冬服を現地で購入
医療費	\$0	円	
保険費		10万円	形態:明治大学指定のBプラン
渡航旅費		28万円	行き18万 帰り10万
雑費	\$1000	円	BCF、旅行等の移動費
その他	\$300	円	旅行先のホテル代
合計	\$14200	円	

渡航関連

渡航経路：往路：成田→デトロイト→バーミングハム 復路：バーミングハム→テキサス→成田

渡航費用

チケットの種類	
往路	18 万円
復路	10 万円
合計	28 万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

往路：明治大学リエゾンデスク

復路：ウェブサイト (Student Universe)

滞在形態関連

1) 種類 (留学中の滞在先) (例：アパート、大学の宿舎など)

寮

2) 部屋の形態

個室 OR 相部屋 (同居人数 3 人)

3) 住居を探した方法：

大学指定

4) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

アメリカの大学の寮はほとんどの場合部屋もしくはキッチン等のシェアです。学期開始後も手続きを踏めば寮の変更は可能です。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

利用する機会が無かった

利用した：

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

交換留学生のアドバイザー、寮の RA、友人

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

大学から送られてくる警告文をよく読む (ハリケーンや不審者等の情報)、大学外に出る際は一人ではでかけない、施錠を怠らない。

私は長期休暇中に強盗未遂に遭遇しました。休暇を終えて寮に入ろうとした際にドアノブが破壊されているのを発見しました。幸い部屋の中に入られた形跡はありませんでしたが、長期で部屋を離れる際は貴重品等の保管は厳重にしたほうが良いと思います。

4) パソコン、携帯電話、インターネット (接続について) 現地での利用はいかがでしたか。

(例：寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学内の建物の中にはほぼ WIFI が通っており、困ることはなかった。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？ (例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカード 2 枚、キャッシュパスポート 1 枚、日本で交換した現金

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

特になし

進路について

1) 進路
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他：
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします) 留学後のキャリアフォーラムで内定を獲得することは可能です。帰国前にキャリアフォーラムの情報を少しでも集めておいてください
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由：すでに卒業要件を満たしているため)
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)：	履修した授業科目名(日本語)：
Intermediate Microeconomics	中級ミクロ経済学
科目設置学部・研究科	College of Arts and Science
履修期間	2012 Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Chris Mann
授業内容	ミクロ経済学を価格と所得分配理論をメインに扱う。講義はグラフと計算が中心であり、細かい計算も求められる。
試験・課題など	試験は4回の試験があり、そのうち最も良い3回分が評価される。 課題はApliaというパソコンソフトを用いて授業ごとに課題が課される。
感想を自由記入	試験で細かい計算を求められることもあったが、授業をしっかり聴いてわからずに部分はしつこく教授に質問できたため問題はなかった。日本語での経済学の知識もかなり役に立った。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Inrernational Politicaleconomy		国際政治経済	
科目設置学部・研究科	College of Arts and Science		
履修期間	2012 Fall		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義及びディスカッション（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に50分が3回		
担当教授	Ellen Curtrone		
授業内容	貿易、海外直接投資、金融政策、国際援助等の側面から国際政治経済のポイントを学習する。		
試験・課題など	試験は中間試験が1回、期末試験が1回 課題はそのトピックごとに1週間に1度のペースで提出が求められる。		
感想を自由記入	理論の講義に加えて、ドキュメンタリー等を用いたケーススタディが多かったため、最も面白かった講義の一つである。課題の量、テストの難易度、学生レベルでのディスカッションもレベルが高く、最も苦労した講義でもある。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Healthcare Economics		医療経済学	
科目設置学部・研究科	Coleege of Business		
履修期間	2012 Fall		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義、プレゼンテーション（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Susan Chen		
授業内容	経済理論を用いて医療制度の問題を考察する。また授業の3分の1以上は学生のプレゼンテーションが占める。（1度の講義に1グループ程度）ケーススタディ等身近なトピック等もプレゼンテーションの対象であった。		
試験・課題など	試験は3回。問題量が多かったため、時間内に解けない学生が多かった。 課題は1週間ごとに提出。プレゼンテーションも大きな配点を占める。		
感想を自由記入	現在大きな問題を抱えるアメリカの医療制度と経済学の組み合わせは、アメリカならではの講義だと感じた。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Intrernational FInance		国際金融論	
科目設置学部・研究科	Business		
履修期間	2012 Fall		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に150分が1回		
担当教授	L.W.Lovic		
授業内容	関税、為替レート、利子率、国際収支バランス、固定相場・変動相場、交際金融機関等の側面から国際金融論を説明。		
試験・課題など	試験は3回。全てマーク式のテストだが、問題数が70問近くあったため、細かい部分まで覚える必要があった。 課題は国際金融に関する論文を1学期中に2枚提出。		
感想を自由記入	金融システムの歴史から現在の金融市場まで、幅広い分野をカバーしつつテストに向けて教科書の細かい部分の学習が求められたため、最も時間を割いて学習した教科である。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Fiscal Policy and Budgeting	財政政策と予算
科目設置学部・研究科	College of Arts and Science
履修期間	2013 Spring
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義及びディスカッション（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Ann R. Williamson
授業内容	アメリカの財政制度の変遷を歴史的背景と共に学習。財政だけでなく、アメリカの政治的特色もつかむことができた。
試験・課題など	試験は3回。選択問題と論述問題の50対50。論述問題に関しては事前に大きなテーマ3つ程度が告知された。授業中の発言も成績に反映される。
感想を自由記入	授業は講義形式であったが、教授と生徒の質疑応答形式で進むことも多かった。また教授自身が全員に発言を促すスタイルであったので、最もディスカッションしやすい授業でもあった。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Terrorism	テロリズム
科目設置学部・研究科	College of Arts and Science
履修期間	2013
単位数	Spring
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	学生及び教授とのディスカッション形式（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Prof Lahiri
授業内容	「テロリズムとは何か？」という問題を世界各国のケースを用いて考える。ドキュメンタリーや文献を用いて各ケースを少人数グループで意見を出し合い発表する。
試験・課題など	中間試験2回、期末テストの代わりに12ページ以上の論文提出（テロリストグループと講義でのトピックの関係性について）。ランダムで講義に関するレポート提出。
感想を自由記入	この授業では期末テストの代わりに、12ページ程度のレポートが課せられた。英語での論文の構成やルール等学ぶことが多かった。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Labor Economics	労働経済学
科目設置学部・研究科	College of Business
履修期間	2013
単位数	Spring
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Peter Brummund
授業内容	労働経済学の一般的な概念をアメリカ国内の事例を用いて学習する。内容は労働者の行動や移民政策、学歴と賃金の関係など。
試験・課題など	試験は学期で4回。選択問題と記述問題。正直選択問題は説明を聞いても頭をひねるような問題が多かった。またこの授業に関わらず、学生の指摘によって回答が複数あるケースもあるので、テストで疑問に思ったことはほとんど追求する必要がある。
感想を自由記入	移民政策のようなアメリカならではのトピックや、学歴と賃金の関係のような身近なテーマまで幅広く扱ったため、1年を通じて最も楽しかった授業の一つである。

留学に関するタイムチャート

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
(形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2012年 1月～3月	1月：明治大学の試験勉強（2年後期までのGPAが審査対象） 2月～3月：春季休暇（語学の自習）、留学先への提出書類の準備
4月～7月	4月～7月：ビザの取得（留学先からI-20到着後）、予防接種、保険の加入、チケット購入、留学先の情報収集（授業、寮、必要なもの等）
8月～9月	8月中旬：出発 8月下旬：オリエンテーション、秋学期授業開始
10月～12月	10月：秋休み 12月：期末テスト、クリスマス休暇開始
2013年 1月～3月	1月：クリスマス休暇終了、春学期授業開始 3月：春休み
4月～7月	4月下旬：期末試験開始 5月上旬：期末試験終了 5月中旬：帰国 6月：キャリアフォーラム（マイナビ、CFN） 7月：面接等
8月～9月	8月：面接等